

理事長あいさつ

■ 地域社会と地域住民にとって役立つ組織でありたい

理事長 川野武豊



平成25年度はシルバー設立11年目の節目を飾るべく、6月に全国シルバー人材センター事業協会より「安全就業優良センター表彰」を受け、事業実績も契約金額は約12、

900万円、会員の就業率は97.8%と過去最高を記録して好業績で終える事が出来ました。これもひとえに発注者の精華町をはじめ民間企業、そして住民の皆様のご理解とご協力のたまものです。またこれに応えた会員及び役職員の協力と努力が実ったものです。この場をお借りして関係各位にお礼申し上げます。

平成26年度は定時総会（6/4）も無事終了し、事業活動の繁忙期に入り活力ある事業運営が行われており、今年度も引続き順調な事業拡大に期待を寄せているところです。今年度の、当シルバーの事業基本方針は①会員の増強②仕事の開拓③会員による自主的運営の推進④安全就業の徹底、適正就業の推進⑤普及啓発活動の推進であり、この基本方針に基づいて事業運営を遂行しますが、今年度は日本経済の大きな変動期にあり、またシルバー業界も運営方針の変更など変化の年で、この変化に振回される事なく臨機応変な

対応を取りながら、現在当センターの抱える問題点（剪定・草刈・草引き・清掃作業などの作業員不足）の解消と改善を喫緊の課題として、その解決に全力を注入し作業員の増強と育成を図りながら、将来を見据えての安定した事業運営の基盤造りを図りたい。また就業機会の拡大と創造については推進プログラムの作成段階にあり、徐々に具体化しますが、この計画は会員の皆様の絶大なる協力が欠かせません。追って協力要請を致しますので、ご協力の程よろしくお願い致します。

さて精華町シルバー人材センターは「公益法人」になって今年で3年目を迎えました。ここで改めて「公益法人」とは何か？を再確認したいと思います。定義は「不特定かつ多数の人の為」となっています。要は地域社会と地域住民にとって役立つ組織であって「信用」と「信頼」が求められています。シルバー会員の皆様そして事務局の役職員各位には、今一度精華町シルバー人材センターが何を求められているかを再確認頂き、資質はもちろんマナーの向上にも努め、プライドを持ってシルバー事業の運営に携って頂けることを願っています。

平成25年度決算監査報告

平成25年度の決算にかかる監査等を以下の通り実施しました。

平成26年4月22日（火）

収支計算書及び財務諸表の確認について

衣目公認会計士事務所 公認会計士 衣目修三

平成26年4月28日（月）

会計及び業務監査

監事 廣利 勝行

監事 長島 正明

表紙写真のこと

清水泰律

6月の風景と云えば田植。近所の方に田植の時期を聞くと、ここらは6月3日から、あそこは10日からと順番があるようでした。原稿の締め切りに間に合うかなと思いながら頭に浮かんだ柘榴の里山の段々畑に行きました。その帰り道にふと思い出したのが、「ふるさと案内」のコース検討で歩いた東畑の集落。



3年前に集会所から鳥谷池―専光寺―東畑神社―嶽山―カニマ池と歩き、段々畑を下り集会所に戻る途中で出会ったあの風景。その時はすっと通り過ぎたが、パソコンに取り込んだ写真の1枚に目が留まり「あ！、此処いいな～」と、私の好きな風景のひとつとなりました。その時の写真が上の写真です。今回は反対方向から撮りました。古里の風景、どこか懐かしい風景がいまも残っている・・・東畑北ノ下あたりの風景です。